



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会 (日本PE協会)

平成 20 年度 第 6 回 (2008 年 10 月度) 理事会議事録

日 時	平成 20 年 10 月 18 日 (土) 9 時 30 分～12 時 00 分
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂 2-10-17 石原ビル 2F
出席者	理事：土屋、泉澤、竹政、青木、柏井、関口、金城、神野、植村 (Skyp 参加)、冨田 (Skype 参加) 監事：武田 事務局：鹿野 JPEC: 高柳 (順不同、敬称略)
欠席者	理事 (委任状有)：内田 (土屋)、鈴木 (土屋) 監事：大久保
議 題	特別事項 審議事項 1 第 5 回 9 月議事録確認 (総務部会) 2 新入会員承認 (会員部会) 3 イヤーエンドパーティー開催について (企画部会) 4 25 日 NCEES/JPEC/JSPE 交流イベントについて (渉外部会) 報告事項 1 三菱重工・神戸造船所訪問 (副会長) 2 サーバ変更作業の中間報告 (広報部会) 3 PEFE 試験プロクターの応募状況 (渉外部会) 4 関西 PEFE 受験セミナー (教育部会) 5 Washington 州登録事例 (総務部会)
添付資料	添付 1. 08 年度の『イヤーエンドパーティー』参加者募集の件 添付 2. NCEES 歓迎夕食会の件 添付 3. 三菱重工神戸造船所訪問 MOM 添付 4. Washington 州登録レポート (岩下氏作成)



議事内容	アクション
<p>● 審議事項</p> <p>1. 議事録確認 9月理事会議事録が確認された。 同時に、9月JPEC理事会にて審議された内容について、オブザーバー参加した神野理事より紹介された。JPECは今年度受験者数の増加に伴い大幅な収益増加が期待されるので、一部を当会へ還元する方法につき審議されたが、賛助会費あるいは寄付のような形態をとることには相対的に反対意見が多かった。事務所経費の分担あるいは、個別の共催活動(州登録活動タスクなどを含む)において当会の負担軽減に協力することには概ね賛同が得られたとのこと。10月試験終了後に、双方で具体案を検討することとなった。</p> <p>2. 新入会員承認 入金済み下記2名の承認及び入金条件で1名の承認を会長にお願いします。 入会 村岡 薫さん (PEN-0013) 入金済み 藤田 崇さん (PEN-0014) 入金済み 村林 儀丈さん 入金条件で承認</p> <p>PE登録 門野 剛さん (PEN-0007→PE-0160)</p> <p>理事会前 PE 132名 準PE 10名 FE 174名 AF 19名 ST 3名 合計 338名 理事会後 PE 133名 準PE 11名 FE 174名 AF 19名 ST 3名 合計 340名</p> <p>3. イヤーエンドパーティー開催日等変更 開催予定日：関西のイヤーエンドパーティーが12月6日(土)で有り、NSPE参加報告をしてもらう関係より、開催日を12月13日(土)とすることに決定した。川村会員の報告に伴う、関西より関東への旅費支払の件、関西より理事が上京する旅費と同額を支払うことが了承された。 開催場所：企画部会で準備している内神田の『ダイニング&カフェU』で開催参加費用は会員3000円、同伴者2500円、子供無料で開催することになった。開催内容は『会員による08年度活動報告発表』『ものづくりゲーム』など</p> <p>4. 25日NCEES/JPEC/JSPE交流イベントについて 午前中の打合せと昼食会には、土屋、柏井2名が参加する。 夕食会は添付2のとおり、平成20年10月25日に開催する。参加は任意参加とし、参加費3,000円、不足分は渉外部会の予算内で処理する。</p>	<p>アクション</p> <p>(会員部会)</p> <p>(企画部会)</p> <p>(渉外部会)</p>
<p>● 報告事項</p> <p>1. 三菱重工神戸造船所訪問の件 (大久保監事作成の訪問メモ参照) 同所は原子力事業本部が中心となって技術系社員に対するPE取得を積極的に推進中で人事担当もMHI社内のチャンピオン事業所になれるように継続的に所を上げた受験支援を実施していくとのこと。但し、今後暫くの期間に渡り、同所より相当数の受験生および州登録申請者が発生することに鑑み、以下の3点について慎重な対応が必要であると認識していた。即ち、①社内におけるReferenceの乱発、適宜分散化と社外者も混ぜるなどの工夫が必要、②登録州の分散、オレゴンのみならずワシントン他の州への分散の必要、③登録後のPE資格維持のためのCPD取得方法の確保などあり。これに対して、当会は①②③のいずれについても協力できると思うので、何なりとご要望を伺う準備があること、そして出来れば当会活動の主旨を汲んで、協賛会員に加</p>	<p>(総務部会)</p>



議事内容	アクション
<p>入して欲しいと説明した。11月29日関西分会の主催するPE受験準備セミナーには、人事担当・山中主任も参加されるとのこと。非常に有益な打合せを持てたので、今後同種の企業向けの話し合いの場を設けて行きたい。</p>	
<p>2. サーバ変更作業の中間報告 KDDI系のCPIに申込みを完了し、初期設定費用と半年分の費用の支払いを会計部会から完了した。初期費用は前回報告の42,000円から15,750円に割引となった。11月1日のHTMLページの移転に向けて順調に作業が進行している。Web入会と会員名簿をWeb上で運用できるようにする改良については会員部会の協力を得て進めている。</p>	(広報部会)
<p>3. PEFE 試験プロクターの応募状況 PE18名、FE4名、事務局2名の計24名で予定より10名少ない。交通費と宿泊費をJPECから支給してもらえれば、名古屋と関西からのボランティア参加も期待できると思われ、今後JPECに検討してもらいたい。</p>	(渉外部会)
<p>4. 関西PEFE受験セミナー 11月29日関西分会が主催するPE受験セミナー(従来の試験の仕組みの説明に加え州登録に関する話題についても体験談を加えて行なうもの)に対して、関西分会より参加依頼があった。この種のセミナーは関西のみならず関東においても行なわねばならないものであり、かつ現在推進中の州登録支援タスクとの関連する内容であるので、神野会員部会長が参加し、挨拶をすることになった。同セミナーの内容および参加者反応については、教育部会長にも報告するものとする。交通費は総務部会の地方分会支援活動より支出する。</p>	(教育部会)
<p>5. Washington州登録事例 昨年10月のPE試験合格者がこの9月にWashington州登録を完了した。本人に作成した報告書を本人の了承を得て公開した。同州のComity申請書は、オレゴン州とはかなり異なる内容で本人も戸惑う部分があったが、非居住、社会保険番号なし、東京NCEES試験という身分で登録される道を確認した意味は大きい。 本人は、現在海外長期出張中だが、適当なタイミングで当会会員となることには前向きで、今後後進育成に協力する意欲あり。</p>	(総務部会)
<p>6. その他 NCEES HPIにある試験SPEC公開欄に、この10月のMechanicalが変更になっているという公示があった。しかし、具体的にどこに変化があるのかは直近の受験者しか分からない可能性が高い。先にCivilでも変更があり、これについては合格者が解説記事を纏めてくれていたが同種の解説を用意すべき。この4年間FE会員数が漸減しており、緊急止め対策としてもPE試験に向けたサービス付加価値を高める工夫が必要。試験傾向について、我々も担当を決めて内容分析する必要があるのではないか? 因みにMechanicalでは試験SPECと同様に3名の専門担当者が必要。Electricalの3分野、Civilは5分野必要。また次年度以降は、同担当者のための最新試験問題集などを協会予算で購入してもよいと思われる。</p>	(話題提供 土屋)

承認	泉澤 聖一
承認	竹政 一夫
承認	青木 豊加
記録作成	柏井 善夫